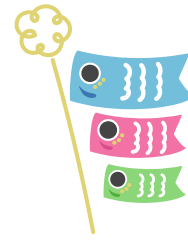


日本共産党 つくばNEWS

vol.10 2026.5月号



つくば市議 山中真弓

2月議会
予算

市立体育施設・公立小中学校体育館・武道場への エアコン設置が実現！

これまで、山中市議も一般質問で取り上げ、市PTA連絡協議会からも毎年要望として出されていた、市立総合体育館、市内小中学校体育館や武道場へのエアコン設置が実現しました。

一方で、下水道料金や国保税、介護保険税、後期高齢者の医療費が引き上げられるなど、市民生活を圧迫する予算となりました。

学校と市立体育館への空調設置計画

▷公立小中学校については、令和10年度までに武道場、卓球場も含むすべての体育施設に設置完了予定です。

令和8年度：市内全中学校、義務教育学校4校、沼崎小

令和8～9年度：小学校16校に設置

令和9～10年度：小学校15校に設置

▷市立総合体育館等への設置計画は、以下の通りです。

令和7～8年度：筑波総合体育館

令和8～9年度(リース)：谷田部及び桜総合体育館、東光台体育館

令和9～10年度(リース)：吉沼及び豊里体育館、豊里柔剣道場

市議の海外視察予算 800万円超

10年以上中止していた市議の海外視察経費が提案されました。連携合意書締結都市であるドイツのポーフム市議会長から招待を受けたことを理由に、市議5名と議会局職員2名、国際都市推進課職員2名の旅費等、合わせて約803万円が計上されました(議員の航空券はビジネスクラス)。総務文教委員会で山中市議は「物価高、円安、世界情勢が不安定な中、行く必要性が全く感じられない」と反対しました。

予算決算委員会では、つくば市民ネットワーク(以下市民ネット)が議員の海外視察費を削除した修正案を提案しましたが、賛成少数で否決されました。修正案が否決された市民ネットは、海外視察費が残る原案に賛成しました。



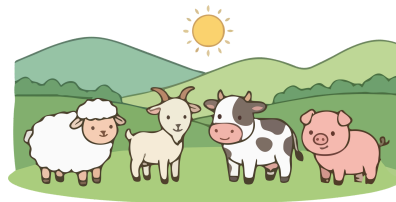
小規模特認校が開校

山中市議が議会で要望してきた、小規模特認校が栗原小と谷田部南小でスタートします。小規模特認校は、従来の通学区域は残したままで、学区域に関係なく市内のどこからでも就学が認められます。

各校では少人数を生かして、体験・探究をとおして学び、日々成長が実感できる「イエナプラン(※)」の理念を取り入れるそうです。

小規模特認校へは、学区外の児童は保護者送迎が必要となります。山中市議は、これまでもつくバス等の公共交通で登校することを(例えば真瀬小や柳橋小での実施)提案しています。また、学校に行きにくくなっている子どもたちの居場所としても利用できるよう、地域と連携し農作業や動物の飼育など、特色を持たせた教育を行うことも提案しています。小規模特認校が、不登校児童への支援にもつながり、子どもたちの学びの選択肢を増やせるよう今後も要望していきます。

(※)イエナプランとは、ドイツ発祥でオランダで発展、普及し、異学年学級、サークル対話、ワールドオリエンテーションなどが特徴。



一般会計予算 特別会計予算に

人員削減と公共料金・保険料の値上げで反対

日本共産党つくばの山中市議は以下の理由で一般会計予算に反対しました。

①人事院勧告による人件費の引き上げで会計年度職員が173名削減(公立保育所の4カ所閉所に伴う保育士含む)されたことで、市民サービスの低下及び現職員への業務負担増の懸念。

②物価高による資材高騰から、陸上競技場の建設費が当初計画の3倍、66億円に膨れ上がっている。県の支援も受けて、計画を見直すべき。

令和8年度予算の会派ごとの賛否一覧(一部抜粋)

	日本共産党つくば	つくばクラブ	Nextつくば	市民ネットワーク	公明党つくば	緑水会	ワニナルつくば	新・つくば民主主義の会	つくばチェンジチャレンジ	創生クラブ
一般会計	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○
下水道事業会計	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○

③議員の海外視察の予算は必要ない。

④小学校の給食費無償化予算が国から補填されること、市費負担が約2億7000万円削減(教員の給食費値上げ)されるにも関わらず、中学校の給食費無償化を実施しない。令和8年4月から県内8割の自治体が小中学校の給食費無償化を実施。

⑤物価高で市民生活がひっ迫している中、上下水道料金の値上げを実施。負担軽減とは逆行し一般会計からの繰入額も削減。

そのほか、国民健康保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計が「子ども子育て支援金」という項目の増税で保険料引上げとなるため、反対しました。介護保険料も給与所得控除引上げによる収入の減額分を、保険料に上乗せすることで引上げになるため特別会計予算に反対しました。

地域交流センター等の公共施設再編は 現基準とニーズに合わせた 建て替えを含めて検討を

研究学園都市建設時の建物が築40～50年たっています。交流センターや小中学校、児童館、保育所など修繕、建て替えが必要な時期であるため、今後の公共施設の再編計画はどうなっているのか聞きました。

財務部長は「令和8年度から2か年かけて第2期つくば市公共施設等総合管理計画の策定を進めており、長寿命化のほか、集積化・複合化等の方向性を示していく。この計画に基づき令和9年度から個別施設計画の見直しを行う予定」と答えました。

集約化・複合化により、現在中学校区毎に設置されている機能が失われるようなことがないよう求めました。合わせて、時代に合ったユニバーサルデザイン、バリアフリー、駐車場の確保なども合わせて盛り込むことを要望しました。

荃崎交流センター(別館)へのエレベーター設置を

地元からは、高齢化も進んでいることから荃崎交流センター別館へのエレベーター設置を求める声が聞かれます。内覧会で集めたアンケートでどのような要望があったか聞きました。

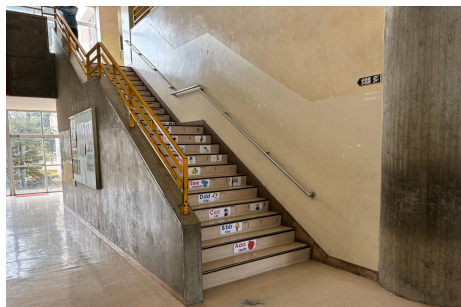
市民部長は、エレベーター設置を求める意見が31件寄せられた。今後、全体の計画の中で検討していくと答弁しました。

桜南小学校は長寿命化ではなく建て替えを

桜南小では、ここ1～2年の間でトラブルが頻発しています。令和5年3月、令和8年1月に発生した停電は、校舎内電気配線が複雑化しており更新ができないことで、古い配線がそのままになっているようです。電気配線の耐用年数は15年ですが、複雑化していることで放置されており、この間漏電が発生、ショート、小火が発生し停電が起きています。

先生方が煙の臭いで気づき、早急に対応できたことで大事には至りませんでした。夜間や休日に起きていたら火事になるところでした。現在、教室棟として使っている建物は、2階への階段が一カ所しかありません。ベランダ側の避難通路と非常階段は狭く、2階にいる児童が安全に避難するのは困難です。いざ出火など起きた場合は、子どもたちが安全に避難できるか不安しかありません。

構造そのものに問題があるところは、長寿命化でなく建替えを行い、子どもたち、教員の安全対策を早急に行うよう求めました。



教室棟に一ヶ所
しかない中階段



避難用通路に使う
ベランダ通路

親子・中高生の居場所を市内各所に

児童館がないTX沿線地域などでは、未就学児を持つ親子が気軽に立ち寄れる場所がありません。中高生の居場所や学習スペースも不足しています。

コミュニティ棟では、予約の入っていない時間帯に会議室をフリースペースとして開放しています。以前は吾妻・竹園交流センターでも実施していました。交流センターやかとりだい及びかつらぎ交流館で、予約が入っていない会議室をフリースペースや勉強スペースで解放できないか聞きました。

市民部長は「現在は開放する考えはない」と答えました。

交流センター職員に空いている時間に臨機応変に無料開放し、子どもたちにとって身近に無料で利用できる場所を作ることを要望しました。



国民健康保険税に

「子ども子育て支援金」を入れるのはなぜ？！

令和8年度から、国民健康保険税に「子ども・子育て支援金分」が追加され、増税となります。そもそもなぜ国保税に「子ども子育て支援金」を盛り込むのか、あまりにもひどい国のやり方です。防衛費は毎年最高額を更新している中、国民への負担は増える一方です。防衛費を削り、子育て、教育、福祉に回すべきです。

市には、国に国保税への公費負担を増やし、国保税を引き下げようを求めるとともに、市としても一般税源からの繰り入れで市民負担を減らしていくことも検討すべきと求めました。

自転車通学している小学生へ支援を

小野川小では、小学校1年生から自転車通学しています。岐阜県川辺町では、公用車を使って児童を送迎している事例を紹介しました。マイクロバスの購入、維持管理を行うよりも、負担の少ない公用車をリース契約し、用務員として雇っている職員に登下校の送迎をお願いできないかと提案しました。

リース契約：9人乗りワゴン車で1か月30,000～40,000円



発行元

発行元 日本共産党つくば
住所 つくば市上ノ室363-7
TEL 029-863-0045
FAX 029-863-0028



日本共産党
つくば市委員会HP

